

各位

浜松市×遠鉄グループ

カーボンニュートラル推進連携協定を締結

調印式・燃料電池自動車引き渡しセレモニーの実施について

遠鉄グループと浜松市は、脱炭素社会の実現に向けた諸施策で協力し、環境問題の解決を目指すため、カーボンニュートラル推進における連携協定を締結します。

本協定の締結にあたり、調印式を下記の通り実施します。また本協定の最初の取り組みとして、遠鉄グループから浜松市へ燃料電池自動車（FCV）トヨタMIRAIを無償で貸出し、市民へFCVの啓発活動を行ってまいります。

記

【調印式・燃料電池自動車引き渡しセレモニーの概要】

- 【日時】 2022年6月20日（月） 15：30～16：15
- 【会場】 （調印式） 浜松市役所本庁舎 5階 庁議室
（車両貸与式） 浜松市役所西側 浜松城公園南広場
- 【出席者】 （浜松市） 浜松市長 鈴木康友氏
カーボンニュートラル推進事業本部長 村上隆康氏
（遠州鉄道） 代表取締役社長 斉藤薫
専務取締役（静岡トヨタ自動車代表取締役社長） 太田勝之
- 【内容】 ■ 開会
■ 調印式（記念撮影）
■ 浜松市長挨拶
■ 斉藤社長挨拶
～浜松城公園南広場へ移動～
■ MIRAI 貸与式
（キーの引き渡し、記念撮影）
■ 閉会

以上

【協定の概要】

(締結の目的)

遠鉄グループと浜松市が連携・協力し、双方の資源・知見等を有効に活用することにより、カーボンニュートラルの推進を図るため

(連携・協力事項)

- 脱炭素化・省エネルギー化に向けた取組の推進及び啓発普及活動
- 環境問題に対する相互の知識・情報の共有

(有効期間)

2022年6月20日より1年間（以降、特段の申し出が無い場合、1年ごとに更新）

【燃料電池自動車（FCV）について】

FCVとはFuel Cell Vehicle（燃料電池自動車）の略称で、燃料電池内で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーで、モーターを回して走る自動車です。

(FCVのメリット)

- 走行中のCO2排出ゼロで排出するのは水のみ
- 航続走行距離が電気自動車と比べても長い
(トヨタ MIRAI の航続距離は、約 750~850km)
- エネルギー補給時間が短い
(1回3分程度の水素充填で長距離走行が可能)
- 電気自動車と同様の滑らかな加速・静粛性



■本件に関するお問い合わせ
遠州鉄道株式会社 担当:藤田/角替(つのがえ)